

# 社会福祉法人 豊中のぞみ会

## 令和4年度 事業報告書

はじめに

法人として、基本理念に基づきそれぞれの事業体である、のぞみ園・のぞみ荘の安定運営を遂行するために令和4年度施行した豊中のぞみ会中長期計画により事業を進めて参りました。

また、ご利用者様への満足度調査を3月に実施し、施設運営に対する率直な評価いただき両施設の健全な運営に向けた課題の見直しを行い業務並びに事業の改善に努めて参りました。

新型コロナウイルス感染症についても終息には至ってはおりませんが、のぞみ園・のぞみ荘共に諸活動等は一定の落ち着きを見せコロナ禍前の生活に戻ったような感じを受けています。のぞみ園での日中活動等につきましても、感染予防には細心の注意を払いながら規制する事無く当初の事業計画通り進められたと思っています。

しかしながら予防の徹底とその対策の再構築、また有事における危機管理体制の重要性を強く感じさせられました。

事業全般としましては、法人の基本理念の下、後に述べさせていただきます六つの基本方針の各項目を重要課題として取り組んで参りました。六つの柱①ご利用者支援に対し丁寧な個別支援計画の作成とそれに基づき個人の特性に合わせたグループ編成、きめ細かいサービスの提供、②職員の質、スキルアップに向けた取り組みと支援の標準化③コンプライアンス意識とガバナンス強化の構築④情報の共有とデータの管理と保存等を柱とし事業遂行に取り組んで参りました。

運営面では、のぞみ園は利用定員20名に対し20名の利用者で、開所日を266日、定員に対する延べ日数(対定員比)は5,320日(人)に対して実利用日数は4,885日(人)の91.8%でした。

年間利用日数は昨年度94.5%から2.7%減になっています。原因は利用人数が21名から20名に減ったことによるものです。

事業面では、新型コロナ禍の中ではありましたが、ウイルス感染の予防対策を行いながら、可能な限り行事や活動を実施してまいりました。

のぞみ荘においては、定員7名に対して7名の在籍者で、年末の帰宅日に他の施設を利用していたご利用者さんにコロナ感染の濃厚接触の疑いが有る旨の連絡を受け、のぞみ荘で過ごすこととなり開所日が当初の360日から365日となりました。開所日数は365日、定員に対する延べ日数(対定員比)は2,555日(人)に対して実利用日数は2,283日(人)で89.4%であった。年間の利用日数は、昨年度81.0%から8.4%増となりました。

職員配置につきましては、ご利用者様に対する割合が年間を通して2対1の体制を維持することができ、給付費の加算を受けられたことは財政的に安定した年度であったように感じます。

また、今年度は豊中市福祉指導監査課からの実地指導を受け、改善すべき事項を示され速やかに精査し改善に取り組みました。

## 理念と支援方針

### 【豊中のぞみ会の理念】

社会福祉法人豊中のぞみ会は、多様な福祉サービスを、その利用者の意向を尊重して総合的に提供し、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう、支援していきます。

## 【基本方針】

### (1) 介護・生活支援サービスの向上に関する取り組み

- ① 社会福祉法人として、理念に謳われているように、利用者を主体とした運営を基本に多種多様な福祉サービスを創意工夫しながら提供できるよう、組織全体で取り組みます。
- ② 利用者の安全や安心を確保し、福祉サービスの提供の基本である人権擁護・あらゆる事故防止対策を中心とした福祉サービスにおけるリスクマネジメント体制の確立を図っていきます。
- ③ 災害時や様々な感染症予防における危機管理体制の構築と非常時の食料及び生活必需品、感染症予防に対する医薬品や備品等々の備蓄を整えます。
- ④ 第三者委員や関係機関との定期的な懇談会をもち健全でより良いサービスの提供に努めます。

### 今年度の事業遂行状況

① サービス提供の基本となる個別支援計画作成にあつては、全スタッフが計画検討会議で意見交換を行い家族面談においてご家族様の意向と照らし合わせて個別支援計画作成に関わる様にしました。また、毎月のケース検討会議においてご本人の様子や課題を共有するようにしました。

日中活動の場では、自由活動や創作活動、地域貢献活動等ご本人の活動の場を広げました。

#### 〔中長期計画(1)ー1〕

②③ 新型コロナウイルス感染症対策は、日常の優先課題となり、施設送迎時からご自宅まで感染予防に努めてきました。施設の設備や備品については、毎月初めに安全点検日を定め施設内の設備やご利用者さんが使用している備品や器具等の確認を行うとともに、アルコールや次亜塩素酸による定期的な消毒を行い事故や感染予防に努めた。災害を想定し定期的に避難訓練を実施するとともに今年度においても災害等の疑似体験を受ける訓練も実施しました。災害時における非常用食料についても、水や食糧の備蓄を行いました。年度当初には各種マニュアルの見直し作業を行い、毎月の会議において虐待防止会議、防災対策会議は目標を定め改正を進めてきました。

また、書面によるヒヤリハット報告に加え毎月1回ヒヤリハット検証・検討会議を開催し事案の共有に努めました。今年度の報告は以下の通りです。4月11回、5月9回、6月13回、7月14回、8月5回、9月6回、10月7回、11月15回、12月14回、1月7回、2月10回、3月15回 延べ126回の報告がありました。

#### 〔中長期改革(1)ー4〕

### (2) 運営基盤の安定に向けた取り組み

- ① のぞみ会中長期計画を策定し計画性のある運営基盤の確立を行います。
- ② 生活介護事業所「のぞみ園」 定員20名(現員21名)で、現員の維持及び基準利用日数の限度まで利用率のアップに努めます。
- ③ 生活介護事業所「のぞみ園」の営業日(開所日)の増加を検討します。  
また、利用率の増加に努めます。
- ④ 共同生活援助「のぞみ荘」 定員7名で、現在6名。  
利用者の定員までの確保に努めます。
- ⑤ のぞみ荘における土日の利用率の向上へ、土日の送迎及び日中の支援を引き続き行っていきます。
- ⑥ のぞみ荘における勤務体制の見直しを検討します。(宿直体制⇒夜勤体制)
- ⑦ 給与体系の抜本的な見直しを行い、職員の定着に努めます。
- ⑧ 法人全体のガバナンス強化に努め安定した法人運営の構築を目指します。
- ⑨ ICT導入により業務の省力化、効率化、情報の共有化に努めます。
- ⑩ のぞみ園のぞみ荘の情報共有を行い円滑な事務遂行を進めます。

### 今年度の事業遂行状況

①のぞみ会中長期計画に基づき優先課題から取り組みを始めました。

②のぞみ園では、現在20名(定員20名)の在籍者で利用率は91.8%でした。

[中長期計画(2)-①]

③連休にならない祝日を開所日にすることで、今年度266日開所予定で266日の開所となりました。[中長期計画(2)-②]

④のぞみ荘では、現在7名の在籍者で欠員は無しである。定員比利用率は89.4%でした。

⑦給与体系の見直しを行った。従来の1体系から4体系にしたほか、基本ベースの見直しを行いました。また、大阪府の最低賃金の引き上げをうけ正規職員には2号俸、パート従業員の時間給の引き上げも行いました。

[中長期計画(2)-③]

⑨⑩国庫事業であるICT導入モデル事業に参画しICT化に向けて事業移行が行えるように準備を進めてきた。ノートパソコン3台、タブレット2台とソフトを試行的に導入した。また導入ソフトによりのぞみ園・のぞみ荘の情報がリアルタイムで行えるようになりました。

[中長期計画(2)-⑤]

\* 利用料請求の全面自動化に向けての取り組みの一環として、毎月定期的に発生する現金徴収の一部を一括請求することで事務の合理化を図りました。[中長期計画(2)-⑦]

\* その他、理事長、施設長、主任、事務主任の4者による運営会議を12回実施し、会計顧問とは必要時応じて経費の執行状況や見直しなどの助言を受けました。

### (3) 人材の育成と確保に向けた取り組み

①全職員のレベルアップを図れるように、外部研修への積極的参加、伝達研修の実施、研修機会への計画的な参加に努めていきます。

(1)人権研修 (2)虐待防止・各種ハラスメントに関する研修 (3)支援・援助スキルアップ研修  
(4)防災・危機管理に関する研修 (5)その他支援に必要な資格取得の研修への配慮

②第三者委員や関係機関との情報交換や懇談会をもちスキルアップに努めます。

### 今年度の事業遂行状況

①今年度も当初から、新型コロナウイルス感染予防対策として外部研修に制限があり十分に研修に参加することができなかった。Zoom会議やリモート会議を利用して可能な限り研修に参加することができた。上半期も人権と権利擁護、虐待防止に重点をおき研修の機会を提供してきた。

また、法人研修で虐待防止並びに身体拘束に対する学習として、内部研修を4回実施した。

[中長期計画(3)-②]

その他 ※ 職員研修計画の策定を行い計画性をもって職員研修を実施してきました。  
年間で延べ研修35回(内部研修4回含む)延べ86名が参加しました。  
実績は別紙のとおりです。

※ 人権研修、キャリアパス研修など

※ ヒューマンアカデミー大阪校から1名10日の実習と関西保育福祉専門学校から2名延べ30日の実習を受け入れました。

#### (4) 地域社会における役割と連携に向けた取り組み

- ①入所者は、地域で暮らす地域住民の一員であり、地域の活動等に協力・参加できるよう努めていきます。
- ②地域住民との交流促進のために、施設見学会や交流会等を実施できるよう努めていきます。
- ③地域社会の一員として、事業経営の安定性と透明性を確保するとともに、地域貢献活動に取り組み、地域との連携を図っていきます。

#### 今年度の事業遂行状況

- ①ふるさと とねやま 夏まつりへの参加は、新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止
- ②玄関の掲示板を活用し、園の行事などを地域の皆さんに周知してきました。
- ③地域貢献活動として、毎月1回近隣の清掃活動を実施しました。(新規取り組み)  
[中長期計画(4)一③]

#### (5) 施設の管理に関する取り組み

- ①建物の補修、設備・備品等、必要なことについては早期に取り組み、設備の点検を計画的に実施していきます。
- ②利用者が安全、安心で快適な施設利用ができるよう環境を整えていきます。
- ③建物の内外の美観や衛生管理に努めていきます。

#### 今年度の事業遂行状況

- ①②毎月1回の安全点検の実施により、設備、備品等々点検を行いました。  
[中長期計画(5)一①]
- ③環境整備事業(法人単独事業)により、感染予防のため各フロアの作業場に空気清浄機の設置を行いました。[中長期計画(5)一③]  
また、長年の課題であった劣化の酷い1階・2階の作業場と3階多目的室の床の張替えを行いました。  
[中長期計画(5)一⑧]

#### (6) ご家族との連携

相互協力を基本として、利用者の園での生活や日中活動等を積極的に発信し、相互の連携、協力体制の構築に努めます。

- (1) 家族、保護者への説明会の開催
- (2) 機関紙の発行による情報提供
- (3) 災害時における危機管理体制や安否確認等々の相互連携体制の構築

#### 今年度の事業遂行状況

- 園の取り組みなどを行事予定表等を使って発信し情報提供に努めました。
- (1) 例年行っている、ご家族様への事業説明会は、コロナ禍でもあり中止をせざるを得なかったが書面による事業計画の周知を行いました。
  - (2) 機関紙については、「のぞみ便り」「健康便り」の発行を行い園の活動の様子やコロナ感染やその他の感染症予防の注意喚起を行ってきました。  
[中長期計画(6)一②]

## 【事業の支援方針】

### ■のぞみ園(生活介護事業)

- ①利用者が安心して通所し、毎日安定して過ごすことができるよう支援していきます。
- ②利用者一人一人の個性を大事にしながら、個別支援計画に基づき、ニーズに沿ったきめ細やかなサービスの提供を心掛けていきます。
- ③さらに利用者の特性や健康・体力に合わせたグループ編成を行いきめ細かなサービスの提供を行っていきます。
- ④小規模な施設であることを活かし、地域へ出かける機会を多く持ち、地域の中で様々な経験や体験をすることにより、利用者の社会性を養うとともに、地域での生活の場を広げていけるよう支援していきます。
- ⑤毎日充実した生活を営むことができるよう、多種多様なサービスを提供することを心掛けていきます。
- ⑥利用者の意見や要望、希望が反映できるよう普段から傾聴に心掛けます。

#### 今年度の事業遂行状況

- ①日々の課題を安定提供し円滑な日中活動が営めるよう支援に努めました。
- ②個別支援計画を全スタッフが共有しコミュニケーションを図りサービス提供に努めました。
- ③ご利用者さんが、個々の特性に合った支援やサービスが受けれるよう配慮しました。  
具体的にはホワイトボードに顔写真のマグネットで、その日の朝礼で一人お一人の名前をお呼びしグルーピングが一目で分かる様工夫をしました。
- ④コロナ禍で感染予防に細心の注意を図り社会見学や地域の公共の施設等を利用し社会性を養う支援をおこなってきました。
- ⑤ご利用者様の特性を踏まえ個人にあったペースで取り組みを進めてきました。  
新しくゆとりのある園内活動を目的に、自由活動の日や創作活動やクッキング等の取り組みを導入しました。
- ⑥直接ご利用者さんからの要望や希望を聞き取ることが困難にあるので、ご家族や活動での様子などを観察しサービスに結び着くように考えてきました。

### ■のぞみ荘(共同生活援助事業)

- ①地域の中で、人と人との関係性を大事にしながら、豊かに生活できるように支援できることを心掛けていきます。
- ②健康で快適な生活が営めるよう、衛生面や食事面に配慮し支援していきます。
- ③家庭に代わる場として、家庭的な雰囲気のもと、安心して暮らしていけるよう心掛けていきます。
- ④利用者の意見や要望、希望が反映できるよう普段から傾聴に心掛けます。

#### 今年度の事業遂行状況

- ①家庭的な雰囲気の中でご利用者の主体性を大切に支援をおこなってきました。
- ②環境整備のためにスタッフとの話し合いを行ってきました。
- ③月1回の職員会議に加えてケース会議も行うようにしました。
- ④虐待行動に至らないよう常に注意喚起を促してきました。
- ⑤特に食事で配慮し健康管理に努めてきました。

【その他の事業】

■のぞみ園

①住環境整備事業(単年度事業)

:各フロアの床の張替え及び壁の補修【完了】

:感染予防の為の空気清浄機の設置【完了】

②ICT導入事業(令和3年度事業継続)\*国庫協議事業 内示あり

:パソコン・タブレット・利用者基本台帳管理ソフト導入による事業の省力化【完了】

:令和5年度意向調査エントリー済

■のぞみ荘

①スプリンクラー設置事業(単年度事業)\*国庫協議

\*設置完了=消防検査・消防用設備等検査済証受領済み

②ICT導入事業(事務機器整備事業)【完了】

:令和5年度意向調査エントリー済

③土曜日及び緊急時用の送迎車両整備事業(今年度検討事業)

:導入に向けて調査継続

# 社会福祉法人 豊中のぞみ会

## 令和4年度 事業報告書

### 本 部

◎ 所在地 〒560-0032 豊中市蛍池東町1丁目1-10  
電話 06-6843-6666(代) FAX 06-6845-5327

#### ○ 本部関係

- \* 理事会 理事 6人 監事 2人 顧問 1人
- \* 評議員会 評議員 7人

- ・ 理事会 1回 5月29日 令和3年度事業報告(案)・決算(案)承認の件ほか
- ・ 理事会 2回 11月20日 令和4年度上半期事業報告・中間決算報告について
- ・ 理事会 3回 3月11日 令和5年度事業計画(案)・予算(案)の承認を求める件他
  
- ・ 評議員会 1回 6月19日 令和3年度事業報告、決算(案)承認の件ほか
- ・ 評議員会 2回 11月26日 令和4年度上半期事業報告、決算(案)承認の件ほか
- ・ 評議員会 3回 3月25日 令和5年度事業計画(案)・予算(案)の承認を求める件他
  
- ・ 監事監査 1回 5月21日

#### \* 後援会関係

- ・ 第28回チャリティコンサートの開催  
令和4年10月 2日 横山令奈ヴァイオリンコンサート  
令和4年10月23日 豊中教会100周年記念フリーマーケット出店
- ・ 後援会理事会
- ・ チャリティーコンサート実行委員会

# のぞみ園

(生活介護事業所)

◎ 所在地 〒560-0032 豊中市蛍池東町1丁目1-10  
電話 06-6843-6666(代) FAX 06-6845-5327

◎ 開所日数 年間 266日 (休日:土・日・祝日、年末年始12/29~1/3)  
但し、毎月1回土曜日開所、祝日は開所とした。ただし5/3・5/4は除く

◎ 定員・利用者数 定員20人 令和5年3月末日現在利用者数 20人  
延べ利用者数 4,885人 1日平均利用人数 18.4人

## 利用者の状況

### ◎【障がいの程度】

(令和5年3月末日現在)

区分	人数	障がいの程度 (受給者証)							平均
		区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6		
男性	12人	0人	0人	0人	2人	3人	7人	5.42	
女性	8人	0人	0人	0人	2人	5人	1人	4.9	
合計	20人	0人	0人	0人	4人	8人	8人	5.2	

### 【年齢】

(令和5年3月末日現在)

区分	人数	10歳台	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳台	平均
男性	12人	0人	5人	1人	1人	4人	1人	40.90歳
女性	8人	0人	1人	1人	2人	3人	1人	48.40歳
合計	20人	0人	6人	2人	3人	7人	2人	43.90歳

### 【利用の状況】

(令和5年3月末日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
開園日数	22	20	23	22	24	23	134	-
延べ日数	440	400	460	440	480	460	2,680	-
延べ利用者数	395	369	409	394	436	433	2,436	18.2人
利用率	89.8%	92.3%	88.9%	89.5%	90.8%	94.1%	90.9%	-
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間
開園日数	22	23	21	21	21	24	132	266
延べ日数	440	460	420	420	420	480	2,640	5,320
延べ利用者数	404	427	387	384	395	452	2,449	4,885
利用率	91.8%	92.8%	92.1%	91.4%	94.0%	94.2%	92.8%	91.8%

1日平均利用者数 18.4人



## 実施事業の概要

- 社会見学・郊外活動(ドライブ会) 毎月1回午後実施。社会見学の実施による文化教養活動。四季の変化や社会の風物を楽しむ機会とした。

月日	行き先	利用者	スタッフ	合計
4/22	兵庫県立一庫公園	18名	10名	28名
5月	雨天のため中止(5/26にレクリエーションに代替)	19名	10名	29名
6/24	道の駅・猪名川	18名	10名	28名
7/22	大阪市立下水道科学館	18名	13名	31名
8/26	国崎クリーンセンター	16名	10名	26名
9/23	道の駅・猪名川	19名	13名	32名
10/28	人と自然博物館	19名	11名	30名
11/25	万博・民俗学博物館	20名	12名	32名
12/9	江崎グリコ記念館	18名	11名	29名
1/27	ダスキンミュージアム	20名	11名	31名
2/24	伊丹昆虫館	18名	11名	29名
3/10	阿倍野防災センター	19名	12名	31名
*年間12回(予定)中11回実施 1回中止		222名	134名	356名
*土曜日の開園は映画観賞会を実施				

### ○ 生産活動

利用者一人一人の状態に照らした様々な個人別の課題別活動と、民間企業や豊中市から受注した軽作業活動を生産活動と位置付け、これらの活動を通じて、一人一人の持久力や持続力、作業意欲の向上、忍耐力の涵養、社会生活適応能力の高揚の支援に努めた。

(基本) 月曜日～金曜日の午前と午後、各1時間30分。

体育等他事業実施の日は主として午前に行った。

#### 【内容】

- ▽ 個別課題別作業活動 利用者一人一人の個性や障がいの特性に応じた課題設定による作業活動を行った。

型はめ・型合わせ作業、物品別・色別仕分け作業、玉通し作業、軽作業物品の移動や搬送作業、ビーズのプレスレットづくり 等

#### ▽ 民間企業受託作業活動

関西ラインクローザーからの受注作業

地図の箱詰め、クリアファイル、プリン箱折り等商品化加工作業

年間見込額 800,000円 収入済額 510,669円 収入率 63.8%

#### ▽ 市受託作業活動 豊中市からの親水水路園路清掃作業の受託

年間契約額 300,000円 収入済額 302,500円 収入率 100.8%

■ 工賃の支払い

【工賃】 ※ 一人当たり工賃の支払い 月平均 4,741円 (単位:円)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
工賃	3,300	2,000	2,100	2,600	3,300	2,500	20,300	
"夏期賞与	—	—	—	—	4,500	—		
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
工賃	2,400	3,400	3,000	3,000	3,000	9,500	29,300	49,600
"冬期賞与	—	—	5,000	—	—	—		

○ 青年教室 (豊中市教育委員会助成事業)

- ① 音楽療法 1回1時間 2階作業室にて実施  
 講師：三岡妙子氏  
 年間 23回実施(年間24回予定)

- ② 体育 創作・エアロビクス 1回1時間  
 場所：ひまわり体育館・柴原体育館  
 講師：松代 和子氏  
 ※ リズム音楽に合わせて身体を思い切り動かしリフレッシュする健康づくりを兼ねた創作体育活動を引き続き実施した。  
 年間 23回実施(年間24回予定)

○ 健康づくり

- ① 屋内プール活動 (8・12・1・2・3月を除く年間12回を予定)  
 年間 12回実施  
 ※ 豊島温水プールで健康の維持、増進活動の一環として引き続き実施した。
- ② 散歩(昼食後雨天以外実施)、ウォーキング(作業活動の無い日に随時実施)

○ 保健

- ① 口腔ケア 歯と健康の観点から訪問口腔検診事業の実施 週1回、月4回  
 場所 3階多目的室 歯科衛生士・スタッフ5～6名。  
 実施者 訪問歯科サポートすまいる(大阪市東淀川区)
- ② 嘱託看護師(植田 幸子氏)による健康管理  
 健康相談等を主として毎週火曜日を基本に引き続き実施、身体測定(月1回)
- ③ カット(箕面理髪店メモリータイム 谷本氏 有料(月1回2,000円 希望者のみ)
- ④ 保健だよりの発行 2回(9月・12月)
- ⑤ 作業療法士(木村氏)による基本的動作能力の維持、改善を目的に実施  
 年間5回

○ 趣味・文化教養

- ① カラオケ 新型コロナウイルス感染予防対策の為中止(現在も継続中)
- ② (再掲)郊外社会見学学習 土曜日開所日午後実施(10月からは金曜日実施)  
 ※ 郊外をドライブし、季節の変化や社会の施設、風物を楽しんだ。  
 ※ 新型コロナウイルス感染予防対策の為密を避け小グループや屋外で実施
- ③七夕の集い 7月6日実施

○ 余暇

茶話会(兼誕生日会)の実施。月1回 1階グループ12回 2階グループ12回  
 ※ リフレッシュタイム。併せて、誕生日月の利用者をお祝いし、仲間づくりの  
 よりよい機会とした。

○ レクリエーション

- ① 歩こうday(遠足) 健康づくりを兼ねて実施。年間計画3回予定  
 2回の実施 1回目(6/3)しあわせの村 2回目(3/31)有馬富士公園
- ② ボウリング大会&外食会 9月16日実施  
 ラウンドワン豊中
- ③バーベキュー大会 10月21日実施  
 服部緑地バーベキュー広場
- ④第2回のだぞみ園夏祭り大会(8月20日) 参加者 利用者19名 スタッフ9名 合計28名

月	行き先・場所	内容
5/26	のだぞみ園	レクリエーション
6/3	神戸しあわせの村	歩こうDay
7/6	のだぞみ園	七夕の集い(七夕飾りとフルーチェ作り)
8/20	のだぞみ園	のだぞみ園夏祭り
9/16	王将・ラウンドワン豊中	外食・ボウリング大会
10/21	服部緑地バーベキュー広場	バーベキュー大会
11/11	淡路島	おのころランド他
12/23	ひまわり会議室・調理室	クリスマス会
1/4	稻荷神社・原田神社・円満寺	初詣・書初め
2/3	のだぞみ園	節分の集い
3/29	万博公園	お花見
3/31	有馬富士公園	歩こうDay

○ 文化・地域交流

- ① 7月 地域との交流 とねやま夏祭り  
 ※ 新型コロナウイルス感染予防対策の為中止
- ② 10月16日 素のままフェスタ参加・出演
- ③ 12/6~12/9 豊中市障害者啓発パネル展参加

○ 保護者関係

① 協働事業「なかまの店」： 阪急豊中駅高架下北側2階福祉の店

年間 月1回\*12回出店 ※下記は会計上の収入 (単位:円)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
売上げ	19,920	22,080	17,610	13,870	13,030	11,220	97,730	
常設展示分	—	13,650	—	18,200	—		31,850	
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
売上げ	11,020	16,660	16,880	16,510	21,090	22,100	104,260	201,990
常設展示分	—	13,450		20,150	—	7,250	40,850	72,700

274,690

\* なかまの店やバザー等作品販売収益は工賃として利用者に還元し支払う。

\* 新型コロナウイルス感染予防の為スタッフのみの店番。

② ご利用者満足度調査の実施 20名中13名の回答(回答率65%)

○ 運営関係

- ① 風通しの良い民主的な職場作りのため、広く会議をおこし、会議を通じて本年度の重点的な取り組みや実施事業を検証・評価し、改善工夫に努めた。
- ② 他事業所との連携を深め、情報の収集、交換を積極的に行った。

▽ 開催・実施の状況

【 会 議 等 】

- ・ 朝会、振り返り、終会 (毎日)
- ・ 職員会議(定例:月1回)年12回
- ・ ケース検討会議(定例:月1回)年12回
- ・ 虐待防止会議(隔月1回)年6回
- ・ 災害防止会議(隔月1回)年6回
- ・ ヒヤリハット検証・検討会議(月1回)年12回
- ・ 身体拘束等適正化会議(隔月1回)年6回
- ・ 安全点検日 月の初日に実施 12回
- ・ 個別支援検討会議 2回
- ・ 運営会議(定例:月1回~2回) 6回

【 府、市、その他関係会議等 】

- ・ 豊中市集団指導説明会……アンケート形式
- ・ 豊中市社会福祉施設連絡会総会 施設長
- ・ 豊中市障害者啓発活動委員会 施設長
- ・ 日中活動支援部会 管理者
- ・ 豊中障がい施設長会 月1回
- ・ なかまの店運営委員会 奇数月
- ・ 日中活動事業者連絡会 管理者
- ・ グループホーム事業者連絡会 サビ管・担当者

【 研修等の実施・派遣 】

利用者満足の向上、信頼の一層の構築のため「日々研修」をキーワードに、職員研修を引き続き重点課題とし、質の高いサービス提供のため、各職種、職域研修への派遣を引き続き行った。

別表のとおり

職員満足度調査の実施 回答率100%

【その他】

- ・ 害虫駆除
- ・ のぞみ荘へのバックアップ(土曜日朝の利用者の家庭への送り。その他)

# のぞみ荘

(共同生活援助事業所：グループホーム)

◎ 所在地 〒561-0842 豊中市今在家町23-15

電話・FAX 06-6866-6616

◎ 開園日数 年間365日 (年末年始12/30~1/2の夜間除く)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
30日	31日	30日	31日	31日	30日	183日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	合計
31日	30日	31日	31日	28日	31日	182日	365日

◎ 定員・利用者数 定員 7人 令和5年3月末日現在利用者数 7人  
年間 延べ利用可能人数 2,463日  
延べ利用者数 2,283 利用率 92.7%

◎ 利用者の状況

【障がいの程度】

(令和5年3月末日現在)

区分	人数	障がいの程度 (受給者証)							平均
		区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6		
男性	5人	0人	0人	0人	1人	1人	3人	5.4	
女性	2人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	4.5	
合計	7人	0人	0人	0人	2人	2人	3人	5.1	

【年齢】

(令和5年3月末日現在)

区分	人数	10歳台	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳台	平均
男性	4人	0人	3人	0人	0人	1人	0人	31.3歳
女性	2人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	54.5歳
合計	6人	0人	3人	0人	0人	3人	0人	39.0歳

◎ 年間利用の状況

【利用の状況】 (体験含む)

(単位: 人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
開園日数	30	31	30	31	31	30	183	
在籍者数	7	7	6	6	6	7	39	
延べ日数	210	217	180	186	186	210	1,189	
延べ利用者数	198	190	173	179	179	177	1,096	
定員利用率	94.3%	87.6%	82.4%	82.5%	82.5%	84.3%	85.6%	
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間
開園日数	31	30	31	31	28	31	182	365
在籍者数	7	7	7	7	7	7	42	81
延べ日数	217	210	217	217	196	217	1,274	2,463
延べ利用者数	186	203	202	193	191	212	1,187	2,283
定員利用率	85.7%	96.7%	93.1%	88.9%	97.4%	97.7%	93.2%	89.4%

## 実施事業の概要

### 利用者関係

- ・ 余暇時間の充実に努めた。  
季節の行事 近隣花見4月上旬随時 市招待プレ蛍の夕べ 6月  
\* 上記、新型コロナウイルス感染予防の為中止
- ・ 「保健だより」の発行 2回 (のぞみ園共通)

### 運営関係

職員の配置 令和5年3月末日現在

管理者	1名
サビ管	1名
世話人	2名
生活支援員	8名
事務員	1名

- 平日 世話人 午後2時半～7時 1人  
世話人 午後4時～8時 1人  
生活支援員 a 午後8時～翌午前11時 2人  
\* 夜間10時～6時は宿直配置  
食事 (夕食) 世話人が調理し提供。  
(朝食) 支援員が調理し提供。
- 土日祝 世話人 午前11時～午後4時 1人  
世話人 午後4時～午後8時 1人 生活支援員兼ねる  
生活支援員 午後8時～翌午前11時 2人  
\* 夜間10時～6時は宿直配置

### 【会議等】

- ・ 定時報告: 前日の帰荘(利用)から翌日の離荘までの利用者の様子等を泊りの支援員が毎朝主任に報告を行った。
- ・ 職員会議(定例月1回)12回 利用者のケースカンファレンスを兼ねて実施した。
- ・ グループホーム事業者連絡会への出席(サビ管・担当職員) 3回

### 【その他】

- ・ 消防署立ち入り検査
- ・ 機械警備による夜間及び不在時防犯、安全管理の実施(通年)
- ・ 害虫駆除(ハチ) 9月
- ・ のぞみ園によるバックアップ  
土曜日朝の利用者の家庭への送り巡回ほか

